

萩ヶ丘小学校 学校だより

No.3
5月31日

木の里に輝いて

学校教育目標 ①はつらつとがんばる子 ②疑問をもって学習する子
③心身ともに健康で、ねばり強い子

校長 羽太 高裕

「元気いっぱい活動し 笑顔あふれる学校」を目指して
～ 保護者との連携を通して～



5月は雨が降る日が多く、子供たちは外で遊ぶことができずに少々欲求不満状態。しかし、子供たちは友達と仲良く、楽しく学校生活を送っています。

さて、今回は本校の授業を3つ紹介します。1つめは学級活動です。もっと友達との関係を深め、絆をつくっていききたいという理由で「特技発表会をしよう」と話合いが行われました。その授業は『教師が児童一人一人を大切にした授業』でした。まず、全員の意見を聞く。つぎに、少数の意見や採用されなかった意見を活かす。さらに、役割分担を決める場面で友達に譲る行いをした児童に「譲ったことを覚えているよ。」と教師が声をかける。声をかけられた児童は、照れながらも嬉しそうでした。2つめは、社会科の授業です。日頃使っている水の量について関心をもつことをねらいとして行われました。その授業は『児童の学習意欲をかき立てる授業』でした。まず、イラストから気づいたことを発表。つぎに、実際に手洗いをした水をバケツにため、1回に使用する量を確認。さらに、今と昔の水の使用量のグラフから、どうしてそのように変化したのかの背景を予想するなど、どの児童も意欲的に授業に取り組んでいました。3つめは、理科の授業です。理科室や実験での約束事を守り、安全に実験できることをねらいとして行われました。その授業は『児童のワクワク感がとまらない授業』でした。まず、実験をするための安全確認。つぎに、液体Xは何の液体なのかを色や匂い等から予想。さらに、液体Xを加熱し、そこにある試薬を入れるとどうなるのか等の実験を行う。実験結果から、なぜ色が変化したのか？他の液体ではどう色が変化するのか？児童は、もっと実験をしたいと理科室を後にしました。

この3つの授業に共通していることは、学習規律が確立されている。ねらいが明確である。そして、教師の授業準備がしっかりされている。教材研究を深めた授業は、授業に勢いがあり、児童の目の輝きが違います。さて、教師が授業の準備をすることは当たり前のことですが、児童が授業を受けるために当たり前のこととは何でしょう。授業開始時刻を守る。学習に必要な物（教科書・ノート・削った鉛筆・消しゴム等）を用意する等、色々あります。しかし、何よりも大切なことは子供たちが元気に学校に来ることです。それには、規則正しい生活を送る。子供の話をよく聞いてあげる。そして、お子さんを毎朝気持ちよく送り出してください。子供の話や話を大切に。保護者の皆様には、お子さんが充実した学校生活を送ることができるように、ご家庭でもご協力をお願いします。

＜ ボール投げ教室 ＞

5月11日(火)に、ボール投げの練習を全校で行いました。体育委員の6年生に、コツを教してもらいながら、繰り返し練習しました。



＜ 交通安全教室 ＞

5月13日(木)に、西平駐在所の諏訪様、小川警察の方の指導の下、交通安全教室を行いました。1・2年生は横断歩道の渡り方、3～6年生は自転車の乗り方を教えていただきました。



＜ 全校縦割り遠足 ＞ 佐伯様、大変お世話になりました

5月26日(水)に、全校縦割り遠足で慈光寺へ行ってきました。当日は、天候に恵まれ遠足日和でした。住職のお話を聞いたり、班ごとにスタンプラリーをしたりして、みんなで仲良く、楽しく過ごすことができました。



6月の予定

- 6月 1日 開校記念日
- 6月15日～6月16日 宿泊学習(4・5年生)一泊二日 小川げんきプラザ
- 25日 授業参観・懇談会